



市協紙
江少関
松青機

No.48

発行
令和3年
11月

心の距離を近づける

松江市長 藤原 恵子

この度、役員改選により、松江市青少年育成連絡協議会の会長に就任いたしました。若輩者ではありますが、十年間会長を務められた岡脈悟会長の後任として、子ども・若者の育成支援充実に向け、精一杯努めてまいります。どうぞ皆様のご協力・ご支援をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

さて、「多様性と調和」をテーマとした東京2020オリンピック・パラリンピックが、九月五日をもって幕を下ろしました。新型コロナウイルスの影響で一年延期となりましたが、緊急事態宣言下で原則無観客の開催ではありましたが、選手は持てる力を存分に発揮し、応援している私たちに、数々の感動を与えてくれました。十代の金メダリストも誕生し、若者の活躍はめざましく、心温まるドラマも多数ありました。

スケートボード女子パークでも、日本の若者が力を発揮し、金メダルと銀メダルを獲得しましたが、世界ランキング一位の岡本碧優選手は、四位に終わりました。しかし、演技を終えた岡本選手は笑顔は、光り輝いていました。失敗はしましたが、果敢に高度な技に挑戦した岡本選手の周りには、競技後選手たちが集まり、岡本選手を讃えました。ライバルであることを超えて、同じ目標や悩みを持つ競技者として声を掛け合い、讃え合う姿はとても美しく、心温まる

瞬間でした。

パラリンピック競泳男子100メートルバタフライでは、木村敬一選手がついに悲願の金メダルを獲得しました。「この日のために頑張ってきた。こんな日がちゃんと来るんですね」と全身で喜びを表現し、感極まる木村選手。私の目頭も熱くなりました。

木村選手とは、四年前の秋にお話する機会があり、「前回のリオデジャネイロ大会では獲れなかったけれど、次こそは金メダルを」と話してくれました。その後アメリカに拠点を移し、米国人コーチに師事して幾多の困難を乗り越え獲得した今回の金メダル。喜びもひとしおだったと思います。

また、競技後、銀メダルを獲得した富田宇宙選手と抱き合っただけで喜び合っただけからこそ、分り合える、讃え合える、二人の心が重なり合う瞬間でした。

今回、東京大会を観戦し、多くの感動と学びがありました。特に感じたのは、「心の距離を近づけることの大切さ」です。競泳の富田選手が、ライバルの木村選手の金メダルを自分の事のように喜べたのは、木村選手がどれだけ努力をしたか、どれほど苦労をしたのか分かっていただけでしょう。

コロナ禍で物理的に距離をとることが求められる今だからこそ、相手の思いに自分の思いを重ね合わせ、「心の距離を近づけるような関わり」「お互いを大事にできる関わり」が大切ではないでしょうか。

松江市青少年育成連絡協議会としても、工夫してできることに取り組み、人と人とのつながりや、絆をさらに大切にしていきたいと考えています。今後どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

松江市青少年育成連絡協議会・各地区青少年育成協議会では

こんな事業をしています!

子どもの健全育成研修会

小学校区・中学校区で講演会・意見交換会等の研修を実施しています。

少年見守りパトロール事業

子どもたちの安全のため、パトロールや見守り活動を実施しています。



ソロキャンプスタッフ研修



夏休み夜間パトロール



朝の見守りパトロール

自立と社会参加



まつえ湖南学園
地域リーダー育成研修会



湖北白鳥学園
ジュニアリーダー研修会



菅田地区清掃活動「いろいろあるな〜」



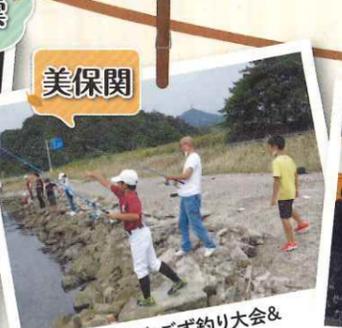
小・中学生交流活動打合せ



あさひにこここパーク2021



八雲中・東出雲中合同地域
リーダー研修会



中海おごす釣り大会&
清掃活動



科学で遊ぼう!

お知らせ

若者が意見を述べる場である、「県民運動推進フォーラム」を松江市で開催予定!

日程 令和4年2月上旬
場所 松江市市民活動センター

家庭・地域における啓発活動

- 青少年の非行・被害防止全国強調月間 7月
- 子供・若者育成支援推進強調月間 11月

地域環境浄化活動

黄色いポストによる有害図書回収

松江市青少年育成連絡協議会では、市内28か所に「黄色いポスト」を設置して、青少年に有害な出版物の回収をしています。



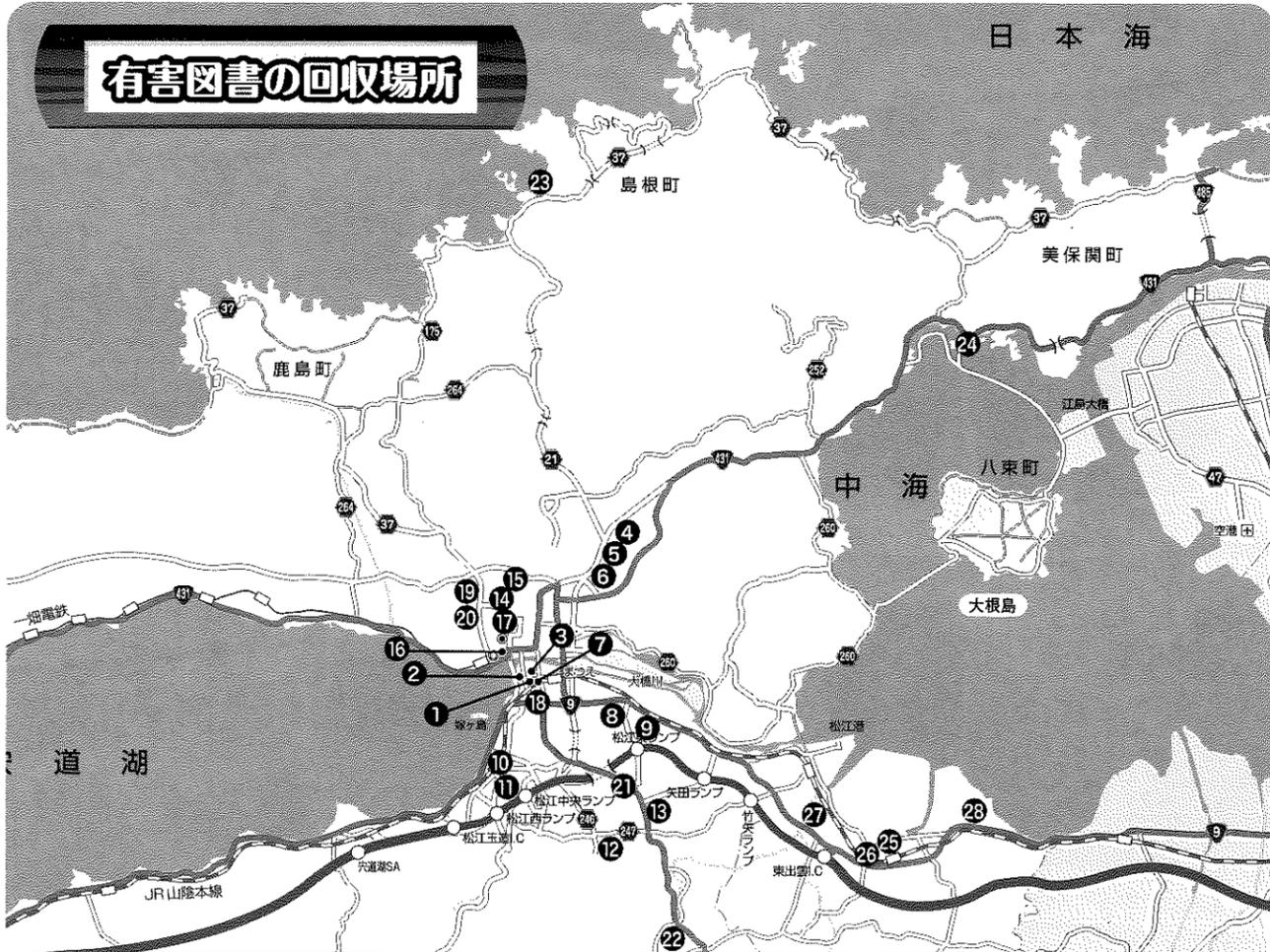
黄色いポストとは

黄色いポストは、地域環境浄化活動の一環として、子どもたちにとって有害な本・ビデオ・DVD等の有害図書類を、子どもの目に触れさせないようにすることを目的に設置した「有害図書回収専用ポスト」です。

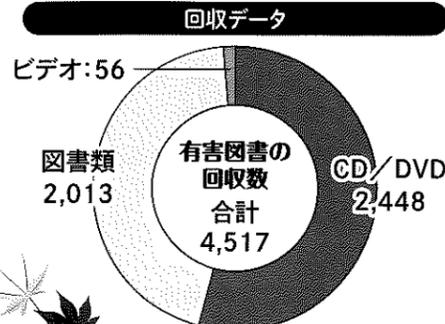
この取り組みは、設置や回収などを各地区の青少年育成協議会や地区の皆様にご協力をいただき、20年以上続いている松江市青少年育成連絡協議会独自の事業です。

現在回収数は減少傾向にあるものの、今後も子どもたちの健全育成を願い、継続して回収を行って参ります。

有害図書の回収場所



- | | | |
|------------|-------------|---------------|
| ①天神町JR高架下 | ⑪Yショップ田和山店 | ⑳古志原三区集会所前 |
| ②市民活動センター | ⑫八重垣団地バス停 | ㉑八雲複合施設 |
| ③八軒屋町バス停 | ⑬ジュンテンドー大庭店 | ㉒島根支所 |
| ④JAグリーン川津店 | ⑭城北公民館 | ㉓美保関公民館 |
| ⑤川津車庫バス停 | ⑮ラバン城北店 | ㉔旧東出雲町役場消防機庫横 |
| ⑥みしまや学園店 | ⑯須衛都久神社 | ㉕JR揖屋案内板横 |
| ⑦松江駅西高架下 | ⑰母衣町ポケットパーク | ㉖旧出雲郷公民館 |
| ⑧みしまや津田店 | ⑱みしまやさいか店前 | ㉗あいマーケット横 |
| ⑨東津田三区町内会館 | ⑲みしまや春日店 | |
| ⑩JR乃木駅西 | ⑳ホック黒田店 | |



子どもの健全育成 実践発表

令和2年度 モデル事業紹介!!

ハゼ釣り&ハロウィンナイト&とんぼさん

生馬青少年を育てる会

会長 浅野 浩之

事業の目的・期待する効果

生馬地区は、松江市の北西に位置し、宍道湖や佐陀川に接する自然あふれた田園地区です。

ここに住む子どもたちが、自分の育った地域の自然環境や、伝統文化に触れることで、地域に関心を持ってもらう。また、地域の大人と事業を通じて交流を図ることで、自分が地域の一員だと認識し、生馬地区の良さや自分自身の気付きを得てほしい。この2点を目標として事業に取り組みました。

事業の内容・対象

ハゼ釣り&ハロウィンナイトでは、地区内を流れている佐陀川において、小学6年生を対象にハゼ釣りをを行い、子どもたちが釣り上げたハゼを自分で捌く体験をしました。その後、ハロウィンナイトとして、生馬地区内をナイトウォーキングし、仮装した大人からお菓子をもらいながら地域を知る体験をしました。



ハゼ釣り・ハゼを捌く体験

とんぼさんでは、子どもたちが生馬地区の伝統文化である撃打ちの披露を行い、地域の方と交流しながら、伝統文化に触れることができました。

スタッフの心構え

川での釣りや、包丁の取り扱い、地区内のナイトウォーキング、とんぼさんでの火の取り扱いなど、けがや事故がないよう役員やボランティア、保護者と意識の共有を行いました。

また、事業を通じて、子どもに気付きや学びが二つでも得られるよう目標を定め、事業を実施しました。

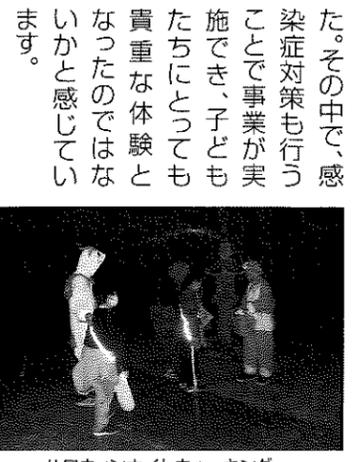
学校・家庭・地域等との連携・協力方法

学校には、アンケートや参加募集チラシ配布の協力をお願いしました。また、ボランティアスタッフとして、保護者も一緒に参加していただきました。

撃打ちは地域の方からご指導いただき、とんぼさんのなかで地域の皆さんに披露することができました。

事業を終えて

コロナ禍の状況下、事業の内容やその実施にあたって非常に難しい判断となりました。



ハロウィンナイトウォーキング

今後の課題

「コロナだからと安易に事業を中止するのではなく、「このような状況の中でどういった形で実施できるか」、「子どもたちにとってどのような体験を与えることができるのか」この2点を、役員・保護者・地域の方と一緒に考え、これからも様々な取り組みをしていきたいと思っています。

その他

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、子どもたちの貴重な一年の間に、少しでも気付きや学びが得られるような体験を、子どもたちと一緒に楽しんでいきたいと思います。